

Forest 通信 H28 2

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.324

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

カラスじゃないよ！

カワガラス（カワガラス科）①

名前はカワガラスですが、いわゆるカラス科ではなく、河川に生息する黒っぽい体色の鳥からこの名前がつけました。

繁殖期は早く1月には繁殖活動に入り、2月には滝の裏などに作られた巢中のヒナに餌を運ぶ姿が見られます。巢中のヒナは4～5羽で21～23日で巣立ちます。

写真は高尾駅近くの浅川で、巢中へ餌を運ぶために落下する水の中に飛び込む寸前の親鳥です。



今月の一句

「餌運び 愛し子のため 突進だ」

(フォレストサポートスタッフ 大作 栄一郎)

二美ちゃん 富ちゃんの



樹木の多くは、春の芽吹きに備え様々な工夫をしているが、この時期の自然観察の楽しみに冬芽の観察がある。

サクラやミズキの冬芽は鱗芽（りんが）と呼ばれ、芽鱗（がりん）と言う堅い殻を鎧のように纏っている。ムラサキシキブは裸芽（らが）と言い、何も身に纏わず葉の形で冬を乗り切るが、ハクモクレンは貴婦人の様に豪華なミンクのコートを着用。ウリノキは葉柄内芽（ようへいなが）と言い前年の葉柄の中で冬芽を守る。トチノキは、べとべとした樹液で冬芽を守る。サルナシは幹の中に冬芽を隠し隠芽（いんが）と呼ばれる。マタタビは半隠芽と言い、幹からわずかに顔を出し外の世界を窺っている。このように様々な方法で、厳しい寒さや乾燥から冬芽を守っている。

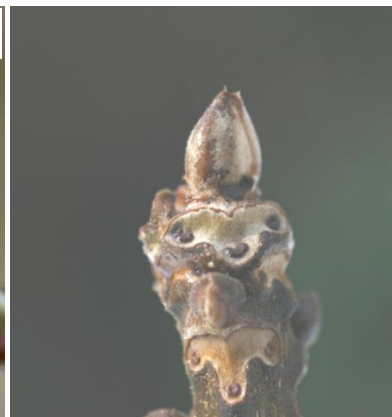
また、晩霜や昆虫の食害に備えて、多くの樹木は主芽のほかに副芽（予備芽）を持ち、ジャケツイバラなどは5～6個の副芽で、これでもかと保険を掛けている。このような樹木の姿を見ていると、冬を乗り切ることの厳しさと、いじらしさを感じる。

また、冬芽の観察とともに葉痕（葉のおちた痕）の観察も楽しいものである。樹種により、サルやヒツジの顔など様々な表情があり、微笑ましいものが多い。

寒いこの季節ならではの自然観察を楽しんでください。

(二美ちゃん)

アブラちゃんの冬芽



オニグルミの葉痕。何に見えますか？

平成27年度 カレッジⅣ

「森林の恵みと共に～炭焼き、そして森の香り～」

平成27年12月19日（土）に、日影沢第二園地において森林カレッジⅣを開催しました。

開会式の後、地面を掘って作った窯「伏せ焼き」1箇所とドラム缶を利用した窯2箇所の3班に分かれ、伏せ焼き窯にはスギを、ドラム缶窯には竹を材料として詰め各窯の焚き口に火をくべ、うちわで窯の中に熱風を送り込みました。なかなか窯に火が回らず1時間以上作業を続ける班もありましたが、予定していた時間内に終わることができました。

午後は、東大名誉教授の谷田貝光克先生による「森林の恵みと共に～炭焼き、そして森の香り～」と題した講義を行いました。講義では、炭の種類・構造・新たな用途の説明のほか、「木酢液には抗菌・抗ウイルス作用・植物成長促進作用などがある」「木においては気分を和らげストレスを低減する」「スギの香りは胃潰瘍を抑える・咳、



スギ材を並べる



竹材を詰める



ノを抑える・睡眠効果を高める・花粉症・アトピーのかゆみを止めるなどの効果がある」「笹餅・桜餅などフィトンチッドは生活の中で身近に利用されている」など内容を受講生はメモをとりながら興味深く受講していました。

その後、炭焼き窯の中の温度が高いと開けたときに自然発火してしまうため消火冷却をするため焚き口を塞ぐ「窯閉め」の説明を行い、次にせんべいなどが入っている缶を使用し簡単に炭を作る「花炭」を作成しました。

受講生からは、「炭の効果を改めて認識した」「木の様々な効果や海外における炭の利用についても知ることができた」「木の香りが身体に及ぼす影響を学べた」「炭の新しい利用方法や木酢液のスゴ技を知ることができた」「炭焼きの方法にも何種類かあることを知った」「炭焼きは町中ではできないので、とても新鮮でした」「子供にも炭焼きを体験させたい」「花炭の綺麗さにビックリした」など感想をいただき好評のうちに1日の日程を終えました。(山P)



できあがった花炭

森林教室



横浜市立谷本小学校



墨田区立菊川小学校



平成27年12月16日(水)に、神奈川県横浜市立谷本小学校の5年生が今年の5月に実施する炭焼き体験用の竹割り作業を校庭で行いました。

谷本小学校は横浜市青葉区にある学校で、学校林から穫れた竹材を高尾で炭に焼く森林教室を毎年実施しています。

竹割り作業の指導は職員が学校に出向いて行うもので、炭についての講義を20分程度行なったあと、準備しておいた竹材



の、長さを切り揃える作業、竹割器具を使って割る作業、割った竹の節をカナヅチで叩き取り除く作業、竹を束ねる作業を、児童全員が各作業を行えるようローテーションしながら行いました。

最初はなれない作業に苦戦していましたが、みんなで協力しながら怪我もなく、用意した竹を全て割ることができ、5月の森林教室を楽しみにしていました。(Ⅲ)



暖冬の今年、冬至間近な平成27年12月21日(月)に、東京都墨田区立菊川小学校の5年生56名が森林学習、丸太切りや森林観察などを体験しました。

菊川小学校は、下町の墨田区両国にある創立百年の伝統ある小学校です。

午前中の森林学習では「森林のはたらき」や「地球温暖化」について、DVDを観たり職員の説明を受けました。丸太切りでは慣れない手つきで一人2枚切った輪切りの年輪を見て、成長の過程を確認したり、友達同士で見せ合いっこしていました。

午後からの森林観察では、山歩きは嫌いと言っていた子もいましたが、いざ歩き始めると、さすが下町っ子、職員やフォレストサポートスタッフがビックリするくらい元気のいい子が多く、高尾の自然を大いに満喫して無事帰路につきました。

(Ⅳ)



山笑う！

春の健康ハイキング

早春の木々の芽吹きやスプリングエフェラル（早春に咲く花）などを観察しながら、聖パウロ学園の森（里山）、滝ノ沢林道（尾根道）、小下沢（沢筋の道）を歩きます。



五感を研ぎ澄ませ、一緒に「春」を探しましょう！

日付: 平成 28 年 3 月 9 日(水)

場所: JR 高尾駅北口 8:00 集合

解散: 小下沢梅園広場 14:50 頃

参加費: 1,700 円（別途バス代 530 円）

持ち物: 昼食、飲み物、帽子、防寒着、雨具、はき慣れたハイキングシューズ、あればルーペ等
小雨決行（前日にご連絡いたします。）

申し込み方法: 往復はがきに必要事項、返信面の宛名を記入の上、下記申し込み先にお送りください。

必要事項: ①イベント名 ②参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、性別 ③代表者の住所、電話番号（自宅・携帯）、あればメールアドレス ④「このイベントを何で知りましたか」の回答

申し込み先:

〒193-0844 東京都八王子市高尾 2438-1
高尾森林ふれあい推進センター「山笑う、春の健康ハイキング」係

応募締め切り: 2 月 24 日(水)

募集人員 (30 名) を超えた場合は抽選

お問い合わせ:

森林インストラクター東京会小勝(こかつ)

携帯: 090-9131-8384

メール: gingerol2013@gmail.com

編集後記

暖冬の影響か、高尾の街中では白梅が開花し始めた。「おいおい、そんなに早く咲いて梅祭りまでもつのか??」「まだ、虫も飛んでないのに…。今年ウメは不作かな?」と心配している某氏。

高尾山の陽だまりでは、春を待ちきれない草花たちが、一足早く花を咲かせているところに出くわすこともある。春を探しに高尾山に出かけてみませんか。

(清)



元気いっぱい飛び出そう!

春の高尾山親子自然観察会

森林インストラクターと一緒に、スミレ等の早春の花、芽吹き、小鳥のさえずり、虫たちの姿など、自然豊かな春の高尾の森を親子で「探検!!」します。

日時: 平成 28 年 3 月 19 日(土)

雨天中止(少雨決行)

集合・解散: JR 高尾駅北口改札 9:00(8:30 受付開始)~14:45 頃下記現地

コース: 小仏行バス乗車~日影下車~キャンプ場・開会式~いろはの森~モミジ台~高尾山山頂(昼食)~1号路~4号路(つり橋経由)~ケーブル高尾山駅付近(閉会式)・解散

対象者: 小学生以上のお子様とご家族50名(未就学児の参加はご遠慮ください。応募者多数の場合は抽選)

参加費: 1 人 500 円(交通費は参加者負担。)

持ち物: リュックサック、昼食、飲み物、敷物、雨具、帽子、保険証(写し)、活動しやすい服装、歩きやすい運動靴、着替え、タオル、防寒具、手袋、筆記具、(あれば)ルーペ、双眼鏡

お申し込みは、 ①「春の高尾山親子自然観察会」参加希望②郵便番号と住所③Email アドレス④参加者の氏名とふりがな、年齢、学年、性別⑤電話番号(中止時などの緊急連絡用)⑥このイベントを何で知りましたか?を記載し、

○Email の場合 fitoyako27@gmail.com

○往復はがきの場合

〒193-0844 八王子市高尾町 2438-1
高尾森林ふれあい推進センター「春の高尾山親子自然観察会」申込係

【応募×切】平成 28 年 3 月 5 日(土)必着

【お問合せ】 森林インストラクター東京会

Email: fitoyako27@gmail.com

電話: 080-1225-7193 (篠原)

Forest 通信 No.324

発行: 林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 042-663-6689 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>